

書道 I シラバス (高校書道 I、教育出版)

教科名(芸術) 科目名(書道 I) 単位数(2)芸術選択 担当クラス (1年)

1、学習の到達目標等

学習到達目標	<p>1、書道における創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てる</p> <p>2、書を楽しむ態度を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深めていきます。</p> <p>3、1と2の学習を通して、個性豊かな表現の能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばしていきます。</p>
使用教科書・副読本	高校書道 I 17教出 / 書 I 704

2、授業計画

学期	月	配当時間	題材	目標及び主な指導内容	評価の観点
1	4	2	書の学習	書の学習に必要な用具・用材の特徴と、それを生かした表現の仕方を理解させる。	ワークシート提出 作品提出
	5	4	臨書(楷書) 九成宮禮泉銘 孔子廟堂碑 牛橛造像記 顔氏家廟碑	古典の臨書について理解させる。唐代の代表的な書家(欧陽詢、虞世南、顔真卿)の作品に触れさせ、練習させる。	作品提出
	6	4			
	7	4			
	7	2			
2	9	8	臨書(行書) 蘭亭序 風信帖	中国及び日本の行書の古典を臨書や鑑賞をとして、それら用筆、運筆法、字形のとり方、行書の特徴について理解させ、練習させる。	作品提出 ワークシート提出
	10	8			
	11	8	臨書(仮名)	仮名の基本的な線、運筆法を理解させ練習させる。平安時代の代表的な古典を臨書・鑑賞させる。	作品提出
	12	6	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書について理解を深め、その表現方法について学ばせ、自分の好きな詩や短文を書いてみる。	

3	1	4	創作	古典の臨書や鑑賞をとおして身につけた表現方法をもとに、手順に従っ	作品提出
	2	8	篆刻	篆刻の用具用材について理解させ、篆刻の仕方について学習させる。	作品提出
	3	4	まとめ	これまでの大事な作品を表装仕立てにする。 作品展示発表と観賞会を行う。	

3、評価方法

- 1、提出作品、「学習記録」の記録状況、「学習のまとめ」の内容、用具・教材の扱いを含めた学習活動への参加の態度などを基に総合的に評価します。
- 2、学期全体の評価は、提出作品で60%「学習記録」と「学習のまとめ」で20%、学習活動への参加態度20%の配分で行います。
- 3、提出作品については漢字の書(臨書)においては対象となる古典の特徴を表現できたか、創作作品においては自分のいといったように表現することができたか、仮名については基本的な用筆、正しい字形が修得で
- 4、年間の学習評価は、1, 2, 3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。

4、評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	書を愛好し、古典の学習を通して書の文化や伝統についての理解をふかめようとしているか。漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の学習を通して、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、書の喜びを味わおうとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・「学習のまとめ」の内容 ・提出作品 ・定期考査
芸術的な感受や表現の工夫	感性を高め、漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書の学習を通して個性豊かな能力を伸ばし、創造的な表現を工夫しているか。	・提出作品 ・「学習のまとめ」の内容
創造的な表現の技能	漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書において個性豊かな表現をするために、幅広い表現理論と技能を身につけているか。	・提出作品
鑑賞の能力	古典の学習を通して書の歴史や文化について理解し、鑑賞の活動の中で書の部を噴石的、総合的にとらえ、そのよさや美しさを味わっているか。	・提出作品 ・「学習のまとめ」の内容